

2018年6月

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社（以下「当社」といいます。）は、2017年6月に、お客様本位の業務運営を実現するため、7つの方針を策定し、公表いたしました。公表以後1年間におけるお客様本位の業務運営に関する取組状況をまとめましたので、ここにお知らせいたします。

当社は、英国ブルーデンシャルグループ<sup>※</sup>の資産運用部門の日本拠点として、アジア、米国、欧州に所在するグループ会社の様々な資産運用サービスを、日本のお客様に提供しております。当社は、投資信託や投資一任契約を通じて、お客様の中長期的で安定した資産形成に貢献するために、今後も7つの方針に基づき、お客様本位の業務運営を実現してまいります。

## 方針1 お客様利益の追求

### <商品の開発・提供>

- 個人のお客様の資産形成に貢献できるよう、アジア投資の専門家としての当社の特徴を活かし、長期的投資に適した以下の投資信託を新規に設定し、販売会社を通じて個人のお客様への提供を開始しました。
  - イーストスプリング・インドネシア債券オープン（年2回決算型）（2018年2月）
  - イーストスプリング・インド株式オープン（資産成長型）（2018年3月）
- 米国に拠点を置くサステイナブル・グロース・アドバイザーズ（以下「SGA」）との間で、2017年12月に、戦略的パートナーシップを締結しました。今後は、当社の投資信託等を通じて、SGAのグローバルな投資戦略を、国内の機関投資家や個人のお客様へ提供していく予定です。

### <スチュワードシップ活動・ESGへの取組み>

- 日本版スチュワードシップ・コード改訂版に対応し、2017年9月に、当社の新たな取組方針等を策定し、公表しました。
- 日本株に関する議決権行使について、「議決権行使ガイドライン（抜粋）」及び「議決権行使の結果の開示」に加え、2017年9月より、「議決権行使結果の個別開示」も新たに公表を開始しました。
- スチュワードシップ活動全般を統括的に監視、検証するため、2018年1月にスチュワードシップ委員会を設置しました。今後は、同委員会においてスチュワードシップ活動に関する実施状況について定期的な評価を行います。

※イーストスプリング・インベストメンツ株式会社は英国ブルーデンシャル社の間接子会社で、同社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社とは関係がありません。

- イーストスプリング・グループは、2018年2月に、国連の責任投資原則に署名しました。投資の意思決定にESG（環境・社会・ガバナンス）の課題を取り込むことにより、フィデューシャリー・デューティー（受託者責任）をさらに推進していきます。

#### 方針2 お客様への真摯な対応

- イーストスプリング・グループの行動規範である「お客様のニーズを第一に」「高品質のサービス・商品の提供」「誠実・責任・尊重」「チームワーク」を礎とした、役職員の意識の向上と実践を伴った企業文化の醸成に努めております。
- 2017年7月に「信頼（誠実・責任・尊重）」をテーマとした全役職員向け研修を実施しましたが、今後も継続的に取り組んでいきます。

#### 方針3 お客様利益の優先

- 「利益相反管理規程」等の社内規程を制定し、定期的な見直しを実施するとともに、当社ウェブサイトを通じてその内容を公表しました。
- 毎年1回、利益相反管理に関する社内研修を実施し、役職員への周知徹底に努めております。

#### 方針4 お客様に分かりやすい情報開示

- 交付目論見書、運用報告書、月報等の文書について、わかりやすさ、明確さの観点から、文字フォント、文体、書面のレイアウトの変更等を段階的に開始しました。

#### 方針5 お客様に役立つ情報提供

- 販売会社と連携し、お客様に役立つ情報提供を行うため、以下のようなセミナー等を開催しました。

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>➢ イーストスプリング・セールスアカデミー：「顧客本位の業務運営」に基づく販売員向け研修を、販売会社からの要望に応じ、実施（2017年度は計6回開催）。</li><li>➢ 販売員向け勉強会：投資判断に役立つ情報がお客様に分かりやすく伝わるよう支援するため、当社の投資信託の特徴や市場動向等を販売会社の販売員に解説（2017年度は計568回開催）。</li><li>➢ お客様セミナー：販売会社が主催するお客様セミナーに参加し、当社の投資信託の特徴や市場動向等をわかりやすく解説（2017年度は計225回実施）。</li></ul> |
|--|

- お客様に投資対象地域や市場環境等について理解と興味を深めていただけるよう、以下の情報・レポートを当社ウェブサイトより直接発信しました。

- イーストスプリング・アジア・ナウ：アジアに関する最新のトピックスを分かりやすく簡潔に提供。原則として毎月 2 回発行（2017 年度は計 22 回発行）
- インド・ウィークリー：インドの金融市場動向等を簡潔に提供。原則として毎週 1 回発行（2017 年度は計 51 回発行）。
- インドネシア・ウィークリー：インドネシアの金融市場動向等を簡潔に提供。原則として毎週 1 回発行（2017 年度は計 50 回発行）。
- 各種動画レポート：ファンドマネジャーによる市場見通しや運用に関する説明を、動画で分かりやすく提供（2017 年度は計 8 回発行）。
- フラッシュレポート：その他臨時レポート等をタイムリーに発信（2017 年度は計 31 回発行）。

- より分かりやすい情報提供を目指し、当社ウェブサイトの全面リニューアル・プロジェクトを開始しました。

#### 方針 6 共有と継続

- 「お客様本位の業務運営」について 2017 年 7 月に全社集会を開催し、代表取締役が直接役職員に説明を行い、その実践を呼びかけました。またその後も、四半期ごとの全社集会にて、継続して「お客様本位の業務運営」の重要性を周知しております。
- 当社は、様々なコンプライアンス研修を行っており、2017 年度には、延べ 21 回の研修を実施し、コンプライアンスを尊重する文化の醸成に努めました。
- 2017 年より、業績評価のプロセスに「お客様本位の業務運営」に関する個人または部署の目標を加え、意識の共有と取組みの継続に努めております。
- 役職員が積極的に自己研鑽に取り組めるよう、外部研修の費用補助等、会社として様々な支援を行っております。

#### 方針 7 取組み状況の公表

- 今後も取組状況について定期的にご報告するとともに、当社の方針についても適宜見直しを実施します。

以上